

2007年3月期(2006年度) 上期業績概要

2006年12月22日
日本電気株式会社
(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

※2006年12月22日に、同年11月21日発表の決算数値を一部訂正いたしました。
本資料は、訂正後の数値に基づいて作成しています。

<将来予想に関する注意>

本資料にはNECおよび連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、（1）NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、（2）市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、（3）激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、（4）NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、（5）NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、（6）市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、（7）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は隨時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すことは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うことになります。

（注）

当社は連結財務諸表作成に関する会計基準を「米国基準」から「日本基準」に変更しております。

フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計です。

自己資本は、「純資産合計」から「新株予約権」および「少數株主持分」を控除したものです。

D/Eレシオは、有利子負債残高を自己資本で除して計算したものです。

自己資本比率は、自己資本を「資産合計」で除して計算したものです。

I. 決算概要

総 括

■ 07/3期 上期実績（日本会計基準）

売上 22,216億円（前年同期比 3%減）

営業利益 75億円（前年同期比 25億円増）

～前年同期比 モバイルターミナルの損益減を他事業でカバーし増益
～予想*1対比では、瑕疵補修費用計上分約100億円が減少
モバイルターミナルの減は他事業がほぼカバー

■ 07/3期 通期予想（日本会計基準）

売上 46,800億円（前年度比 約5%減）

営業利益 1,000億円（前年度比 約275億円増）

～前年同期比 半導体、NWシステム等の改善で前年度比増益を目指す
～予想*1対比では、瑕疵補修費用計上分約100億円の修正
モバイルターミナルの減をネットワークシステム他でカバー

*1 7/27時点の米国会計基準での予想を日本会計基準に置き換えたものです。

* 予想値は2006年11月21日現在のものです。

※2006年12月22日に公表した訂正後の決算数値に基づき作成しています。

07/3期 上期実績サマリー (日本会計基準)

(単位:億円)	06/3上期 実績	07/3上期 実績	前年同期比	07/3上期 前回予想*1
売 上 高	22,838	22,216	-3%	22,900
営業利益 (売上高比%)	50 0.2%	75 0.3%	+25	180 0.8%
経常損益	-193	-118	+75	-10
当期純損益 (売上高比%)	-3 0.0%	-99 -0.4%	-96	-20
1株当たり純損失:基本的(円)	-0.16	-4.94	-4.78	
フリー・キャッシュ・フロー	56	411	+355	
総資産	37,487	36,945	-542	
自己資本	10,228	10,332	+104	
有利子負債残高	10,352	8,772	1,580減	
D/Eレシオ(倍)	1.01	0.85	0.16改善	
自己資本比率	27.3%	28.0%	+0.7%	

*1 前回予想は、7/27時点の予想を日本基準に置き換えたものです。

※2006年12月22日に公表した訂正後の決算数値に基づき作成しています。

07/3期 通期予想サマリー (日本会計基準)

(単位:億円)	上期	通期			通期
	07/3期 実績	06/3期 実績	07/3期 予想	前年同期比	07/3期 前回予想*1
売 上 高	22,216	49,300	46,800	-5.1%	49,800
営業利益 (売上高比%)	75 0.3%	725 1.5%	1,000 2.1%	+275	1,100 0.8%
経常損益	-118	150	400	+250	500
当期純損益 (売上高比%)	-99 -0.4%	-101 -0.2%	180 0.4%	+281	230 0.5%
1株当たり純損失 : 基本的(円)	-4.94	-5.26			
フリーキャッシュフロー	411	1,411			
総資産	36,945	38,028			
自己資本	10,332	10,298			
有利子負債残高	8,772	9,351			
D/Eレシオ(倍)	0.85	0.91			
自己資本比率	28.0%	27.1%			

*1 前回予想は、7/27時点の予想を日本基準に置き換えたものです。

* 予想値は2006年11月21日現在

※2006年12月22日に公表した訂正後の決算数値に基づき作成しています。

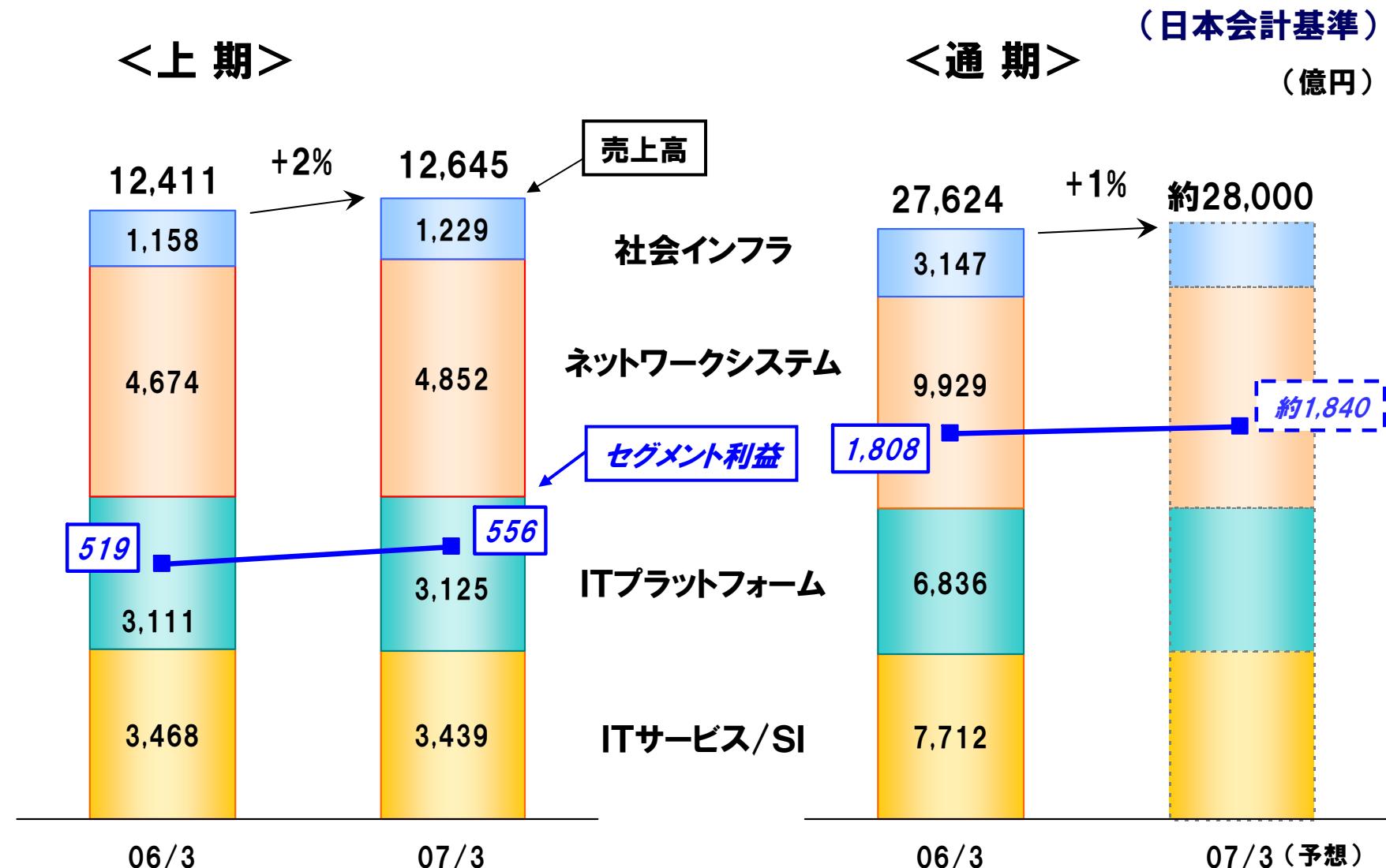
07/3期 セグメント別上期実績/通期予想 (日本会計基準)

(単位:億円)		07/3期				参考:07/3期 7月予想	
		上期実績	前年 同期比	年間予想	前年 同期比	上期予想	年間予想
IT/NWソリューション事業	売上高	12,645	+2%	28,000	+1%	12,880	27,900
	営業損益	556	+ 37	1,840	+ 32	680	1,800
	利益率	4.4%		6.6%		5.3%	6.5%
モバイル/パーソナルソリューション事業	売上高	4,990	-14%	9,450	-24%	5,430	12,250
	営業損益	-373	- 216	-540	+ 13	-330	-400
	利益率	-7.5%		-5.7%		-6.1%	-3.3%
エレクトロンデバイス事業	売上高	4,270	+7%	8,650	+6%	4,340	8,900
	営業損益	-42	+ 61	0	+ 308	-15	80
	利益率	-1.0%		0.0%		-0.3%	0.9%
その他 / セグメント間消去他	売上高	311	-	700	-	250	750
	営業損益	-66	+ 143	-300	- 78	-155	-380
	利益率	-		-		-	-
合計	売上高	22,216	-3%	46,800	-5%	22,900	49,800
	営業損益	75	+ 25	1,000	+ 275	180	1,100
	利益率	0.3%		2.1%		0.8%	2.2%

* 予想値は2006年11月21日現在

II.セグメント別事業の状況

IT/NWソリューション事業 1



* 予想値は2006年11月21日現在

IT/NWソリューション事業 2

■ ITサービス/SI

- ◇ 上期：外注費削減やPJ管理徹底等により、ほぼ想定通りの利益を確保
- ◇ 下期：市況の回復を受け堅調な売上成長を見込む
 - 金融・流通における競争力強化投資
 - 通信キャリア向けサービスプラットフォーム

SI生産革新の成果により増益を計画

■ ITプラットフォーム

- ◇ 上期：売上・損益とも想定どおりに推移
プラットフォームコンセプト「REAL IT PLATFORM」を発表
国内サーバシェアNo.1を堅持



- ◇ 下期：コンセプトに基づいた特色ある製品の展開に注力
SIGMABLADE、SigmaSystemCenter、シンクライアント

IT/NWソリューション事業 3

■ ネットワークシステム

- ◇ 上期：キャリア向けネットワークが好調
 - 国内：モバイルナンバーポータビリティ開始に対応した投資の前倒しによりモバイルインフラ事業が好調
 - 海外：ロシア・アジアを中心にパソコンが伸長継続
- ◇ 下期：キャリア向けNGN商談の獲得に注力
 - 企業向けソリューションの強化
 - ・セキュリティやネットワークアウトソーシングなど

■ 社会インフラ

- ◇ 地上デジタル放送、準基幹設備等で上期出荷、利益とも順調

IT/NWソリューション事業 4

■ NGN関連ビジネスの好調な立ち上がり

◇ キャリア向けのNGN関連システム、製品の受注

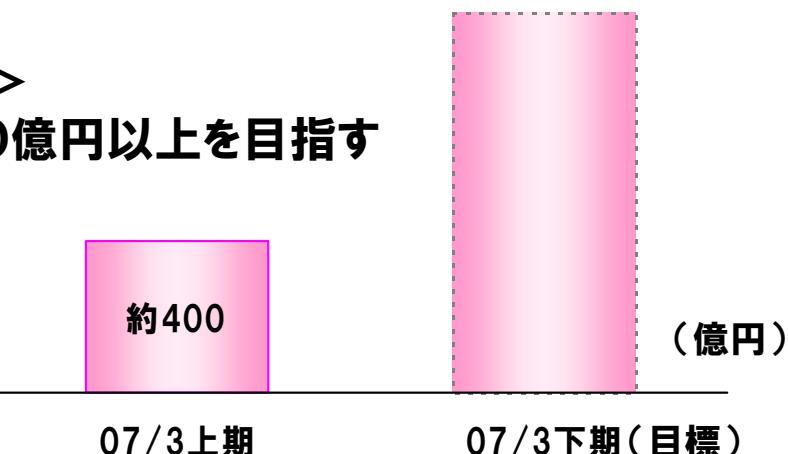
- ・NTTドコモ クレジットサービスを支える基盤システムを構築（06.7.25発表）
- ・KDDI ウルトラ3Gの中核となる世界初のMMDを受注（06.11.1発表）
- ・NTT フィールドトライアル用中核製品群の受注（06.11.14発表）

◇ NGNを見据えた強い製品の投入

- ・ネットワークサービス基盤ソフト“NC7000”を発売（06.9.27発表）

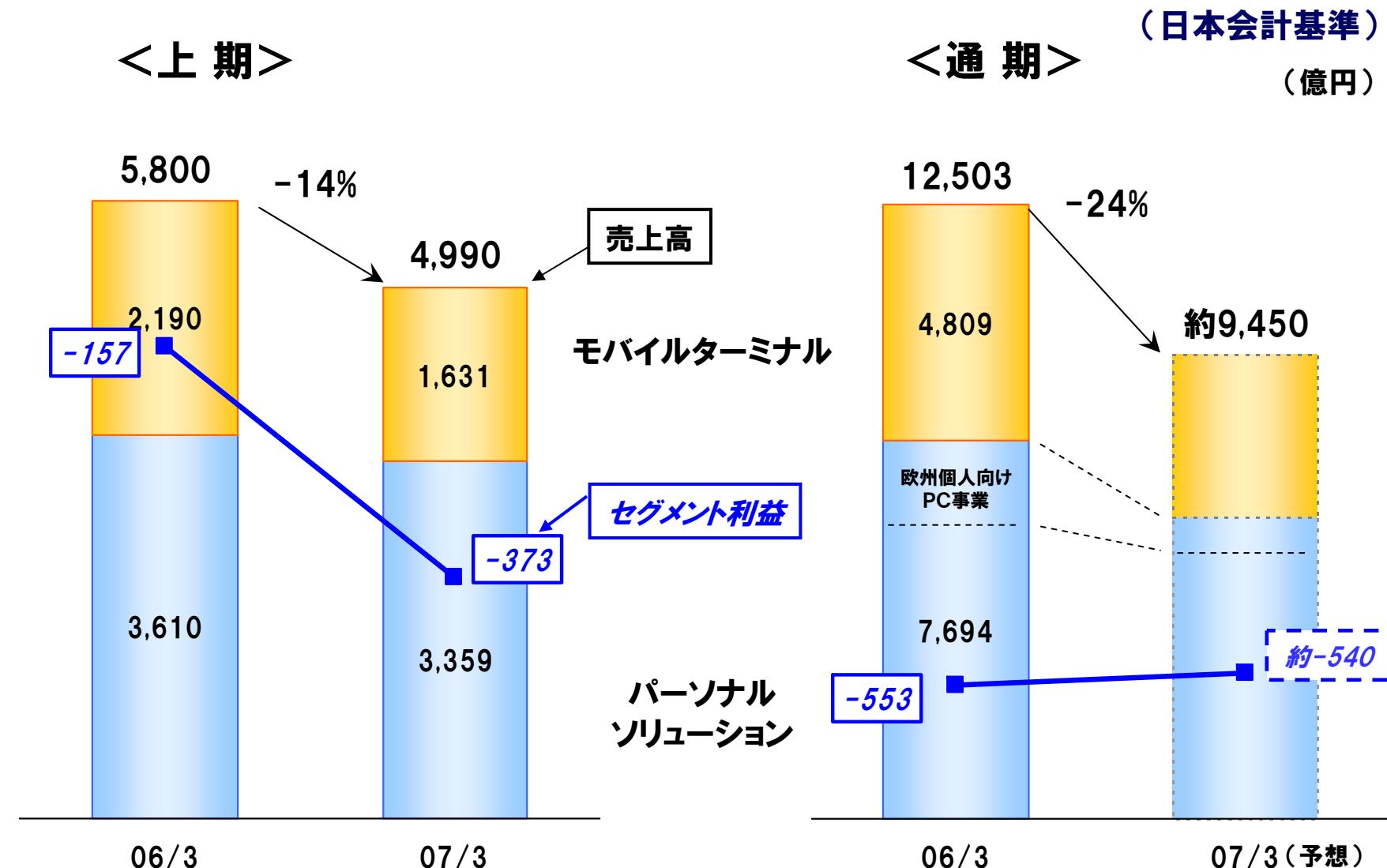
< NGN受注 >

通期1000億円以上を目指す



* MMD マルチメディアドメイン

モバイル／パーソナルソリューション事業 1



* 予想値は2006年11月21日現在

モバイル／パーソナルソリューション事業 2

■ パーソナルソリューション

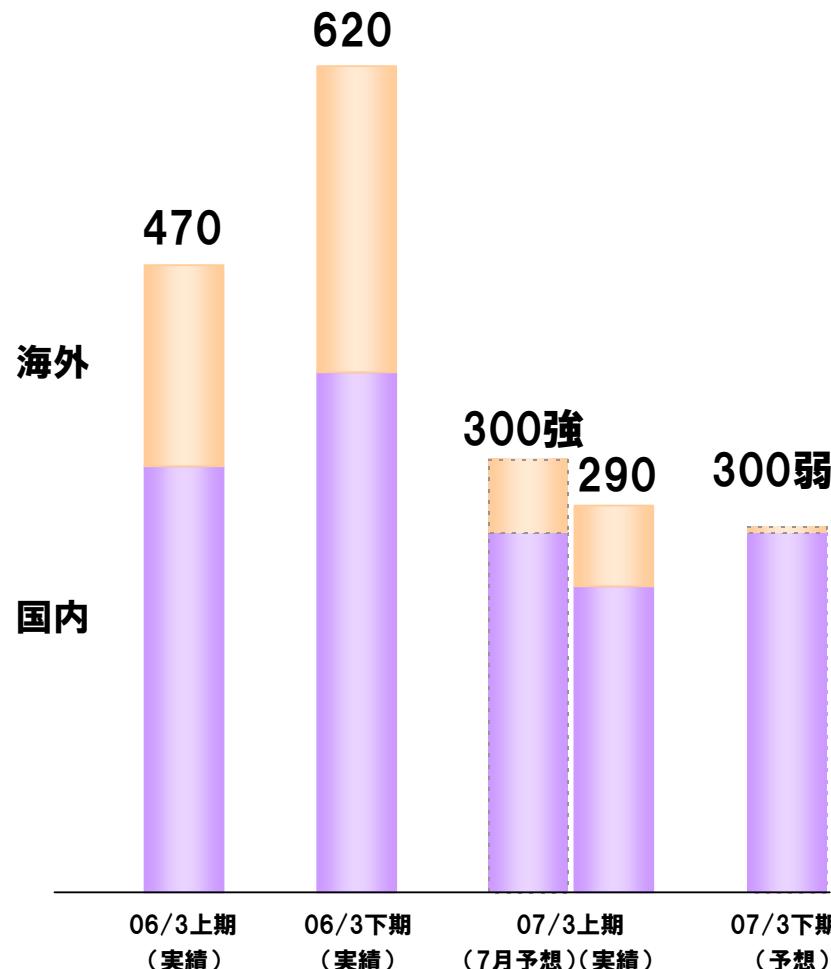
- ◇ 上期：国内パーソナルソリューション事業は、黒字を確保
　　欧洲個人向けPC事業（パッカードベル）売却（06.10.16発表）
- ◇ 下期：ウインドウズ ビ스타効果により4Qからの出荷拡大を期待
　　部材コスト削減、品質向上によるサポート費用減少

■ モバイルターミナル

- ◇ 上期：出荷台数290万台（前年同期比4割減）
　　国内：対象市場が想定以上に厳しく出荷台数前年同期比3割減
　　海外：欧洲は新機種投入中止
　　　　中国も絞り込みにより、出荷台数前年同期比約4割へ縮小
- ◇ 下期：国内：商品力強化により、出荷増を目指す。
　　海外：中国も当面新機種投入見合わせにより、出荷はわずか

モバイルターミナル事業の状況（1）

出荷台数推移（万台）



◇ 海外: 3. 5G以降に向けた構造改革実施

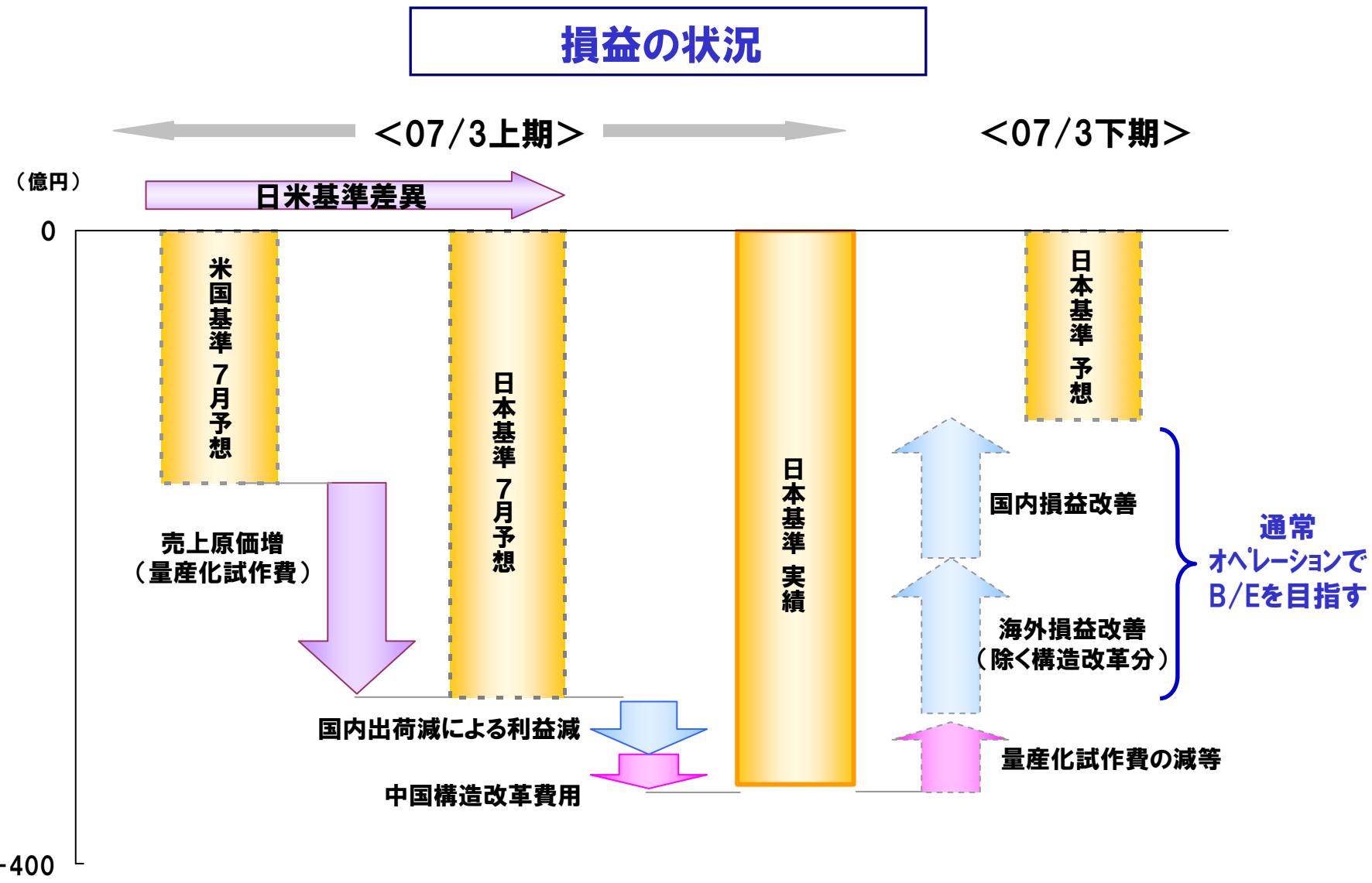
- ・欧洲は既に2.5G新機種投入を中止
- 現地事業体制は縮小済み
- ・中国は年度内に事業構造改革を完了

◇ 国内: 商品力強化でシェア回復狙う

- ・きれいな表示、さくさく感
N903i:FOMAでの最高解像度 (VGA+)
- ・小型、軽量、薄型化
シンピュアN1:FOMA最軽量
705N:ソフトバンク向け薄型機種
- ・高機能化
N902iL:無線LAN機能、セキュリティ強化
- ・高速化
N902ix:高速ダウンロード可能なハイスピード

* 予想値は2006年11月21日現在

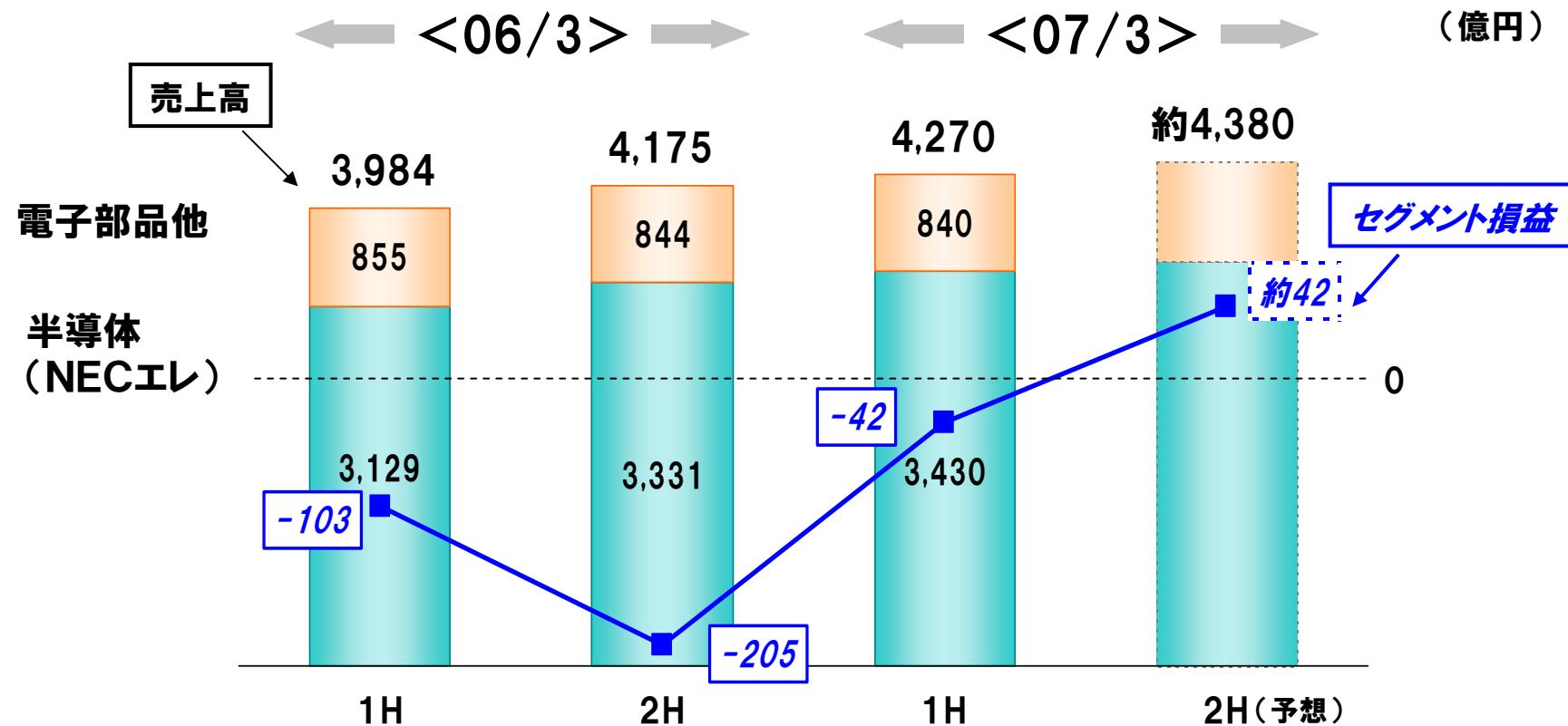
モバイルターミナル事業の状況（2）



※2006年12月22日に公表した訂正後の決算数値に基づき作成しています。

エレクトロンデバイス事業 1

(日本会計基準)



(億円)	06/3				07/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-98	-23	-70	-166	-58	-11

(注) 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。
日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

* 予想値は2006年11月21日現在

エレクトロンデバイス事業 2

■ 半導体（NECエレクトロニクス）

- ◇ 上期：売上、利益ともに前下期比で改善
 - ・主にディスクリート、多目的マイコン、小型表示ドライバが売上増
 - ・一方でモバイル向けDBB、大型表示ドライバは減速
- ◇ 下期：上期比+4%半導体売上成長
 - ・ゲーム向けSoC本格出荷、モバイル向けDBB、大型表示ドライバの回復、自動車向けが売上増に寄与
 - ・增收とコストダウン、内製化により営業損益BEを計画
- ◇ 通期：所要見通しやリスク再評価などを織り込み、業績予想を下方修正



販売、組込ソリューション、ソフト開発プロセス管理等の面から
NECEL社の業績回復を支援

■ 電子部品その他

- ◇ 上期：電子部品市場の拡大を背景に好調継続。

Empowered by Innovation

NEC